



秋の全国交通安全運動が行われます



9月21日（土）から9月30日（月）までの10日間、

『反射材 光って気づいて 事故防止』

をスローガンに、秋の全国交通安全運動が行われます。



《運動の目的》

日没時間が早まる秋口は、夕暮れ時・夜間における歩行・自転車乗用中の交通事故の増加が懸念されます。運動期間中に、交通安全教育や広報啓発活動を集中的に展開することにより、県民一人一人が交通ルールを遵守し、正しい交通マナーを実践し、交通事故の防止を図ることを目的に実施します。

《運動重点》

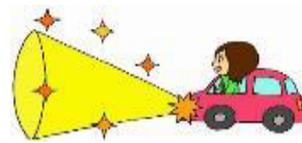
- 1 反射材等の着用促進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- 2 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進等による安全運転の励行
- 3 飲酒運転根絶宣言制度の推進等による飲酒運転ゼロに向けた取組の強化
- 4 自転車・特定小型原動機付き自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底



反射材等の着用促進



安全な横断方法の実践



早めのライト点灯



自転車等ヘルメットの着用



飲酒運転は、絶対しない・させない・許さない

〈連絡先〉

茂原市役所 市民部 生活課

TEL 0475-20-1505 (月～金 8:30～17:15)

高齢者のための交通安全

おんこちしん 「温故知新」



高齢者が歩行中に事故に遭われるケースが多く発生しています。
昔から今へと伝えられた「暮らしの知恵言葉」を交通事故防止で役立てましょう！

浅い川も深く渡れ

歩行者事故の多くは、歩行者の自宅から1 km以内の身近な道路で発生しています。
通り慣れている場所でも油断せず、安全確認を徹底しましょう。

転ばぬ先の杖

夜間、黒っぽい服を着た歩行者は車のドライバーからよく見えていません。
夜間に外出するときは、明るい服装にして反射材も着用しましょう。

畳の上の怪我

横断歩道を青信号で渡っている時に、右・左折車と衝突する事故が少なくありません。
信号が青だからといって油断せず、交差点を右・左折してくる車がないか確認しましょう。

急がば回れ

横断歩道がない場所を横断していた歩行者が車と衝突する事故が多発しています。
近くに横断歩道があるのに横着してその近くで渡るのは、特に危険です。
少し遠回りになっても、近くに信号機や横断歩道があるときは、そこまで行って横断しましょう。

前門の虎 後門の狼

横断前に右からくる車との安全を確かめて渡り始めても、道路中央を超えた横断後半、
からきた車と衝突する危険があります。
横断前はもちろん、横断中も油断せず、特に横断後半は左方の安全をしっかりと確認しましょう。

飛んで火に入る夏の虫

夜間、車のライトはまぶしいくらい明るく見えますが、車のドライバーからは歩行者が
よく見えていません。
夜間に道路を渡る時、近づいてくる車がいたら、車が通り過ぎるまで待ちましょう。